



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

「君よ、あなたよ」無碍の一道

今年の冬は近年珍しく、厳しい寒さが続きます。一月中旬雪の降り続いた北陸自動車道で、一時千台もの車が動けなくなり、高速道路は通行不能状態に陥り、自衛隊に救助を求める事態になりました。雪の降り続く中、車の中に閉じ込められたドライバーの人たちも、救助に奔走する人たちも誠に苦労さまで言わねばなりません。

このような困った状態を新聞はじめマスコミは「北陸道で車立往生、一千台」などと書きたてました。はて、往生とは困ったことを言う言葉だろうか？

『広辞苑』で「往生」について調べると、

①この世を去って他の世界に生まれ変わることを、特に極楽浄土に生まれること。

②死ぬこと。

③あきらめてじっとしていること。どうしようもなくなること。

とあります。世間一般、マスコミ報道では「立ち往生」を③の意味で使っている訳です。①の意味の本来的な用法が、限られた仏教界だけでなくもつと

世の中に広まって欲しいですね。

新型コロナウイルスの感染が真冬と共に拡大し、首都圏や近畿圏などでも緊急事態宣言が再び発出される状態になり、医療の危機も懸念されるため、コロナでなくても他の病気にもなれない不安が増えています。だから、外出自粛、夜間の外出禁止などとプレッシャーをかけられると余計に不安やストレスが増す悪循環に陥ります。

「しばらくは離れて暮らす」「コ」と「ロ」と「ナ」今度会う時「君」という字にという戯れ歌がメールで送られてきました。カタカナの「コ」「ロ」「ナ」を組み合すと「君」になります。つまり、今は会えずに離れていても君のことと忘れないよ、という励まし的心がこの歌に込められています。

「君よ、あなたよ」という呼びかけはみ仏さまの呼び声ではないか！「君が悲しい時は私も悲しい。一人じやないよ、私も一緒に寄り添い、手を取り抱き取って下さる仏さま。今まで人間中心主義で森を削り、海を汚してきたついで、野生動物を介したウイルスが蔓延する事態が引き起こされたのだ



☆行事ご案内☆

◇2月の門信徒会例会

2月21日(日)朝8時半
2021年の寺の活動について



《予告》春季永代経法要 講師:森直道師(法賀)初

3月20日(土)・21日(日)両日共・午後1時半、
※お経開き(招待者)20日(日)午前10時半

《予告》◇三全仏教婦人会総会百年の歴史の仏教婦人会
3月20日(土)夜7時、善正寺本堂

◇絵手紙教室2月9日(第2火)午前10時

58回目、初心者歓迎、小杉郵便局展示、川崎光子先生

◇歌声喫茶2月18日(第3木)午後1時 どなたでもOK
本堂、18回目マンドリン、ギター伴奏で歌います

◇キッズサンガ2月6日(土)午後4時 親子二代 保育園から通い続けた6年生も後2回で卒業、立派な仏の子に成長！夕方5時の鐘撞きは毎日開放、誰でも撞けます。

◇一線会テレホン法話5か所の講師が週替りで3分法話TEL059-354-1454新刊本「仏様から信じられている」

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」検索1年分の寺報閲覧、毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」好評開設12年6カ月33万8千訪問、お悩み相談可、即返信

◇新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方相談下さい

◇法事場所でお困りの方:本堂使用可、寺にご相談下さい



とすれば、コロナ禍は現代文明、そして人間一人ひとりの問題でもある。それ故、この災いは他人事でないし、慚愧の外はない。だからこそ、同じみ仏さまの御同朋御同行の我々は共に心をつながりを保ちつつ、免疫力を保ちながらこの災禍を乗り越えて生きてい。

☆写真アラカルト ☆



坊守スケッチ

コロナ後私達の生活はどうなる？

正月明け早々、一都三県に緊急事態宣言が発令され、全国的に感染者数が拡大の一途です。当初、昨年の内にワクチンが開発され、春には全国民に接種されて、夏には東京オリンピック開催の予定でしたが、果たしてどうなることやら？新型コロナウイルスは、私達の想像以上に進化し、世界中の人々を苦しめ続ける手強い敵です。いくら日本が治まったとはいえ、世界中の人々が安心してオリンピックに参加できるかどうかは疑問です。

へこの密集、世界の隅々まで発達した交通網が、感染症拡大の好条件となる。だとすれば、今後もウィルスのパンデミックが起こりうる可能性が大きい」と書いています。これを読んで私は不安に駆られました。今までの平穏な暮らしを当たり前のように享受して、その有難さに気付きませんでした。

コロナ後の社会が、IT(情報技術)を主体にした社会に変革されることは間違いありません。しかしIT技術はあくまでも手段であって目的ではありません。それを如何に使うかが大事です。私の寺もコロナの苦い経験を生かして、皆さんと寺とを繋ぐ新しい教化伝道方法を模索します。そして地域の人人々に必要とされる寺になりたいたいと思いはじめました。

俳壇

日章旗揺れる小舟に初日の出 釋妙水
 冬の知多半島染めて夕陽落つ 初仕事まず探し物からとなり
 清々し元朝の山薄化粧 釋樂邦
 見慣れたる景色も新たお元日 一瞬の風を捉えて揚がる風 釋清風
 列作り息弾ませて除夜の鐘 釋清風
 お年玉受くも授くも笑顔かな 孫よりのお飾り胸に初笑い
 冬夕焼け集め黄金に光る窓 釋秀龍
 コロナ行け幸せ願う福寿草
 いつまでも年玉くれる祖母やさし

若坊守の育自な毎日74

先月号に引き続き、長男(8)のハマっていることをご紹介します。お気づきの方もいるかもしれませんが、善正寺だより一月号から俳壇欄に長男の句が載っています。

「冬炬燵もぐって遊ぶほてり顔」
 「冬晴れに注射で泣く子声響く」
 「日向ぼこミルクコーヒー飲みながら」
 「俳句を詠むのが日課になり、会話もなぜだか五七五調。家族にも俳句を作らせ、テレビ番組「プレバト」の夏井いつき先生の如く査定して、才能アリやらナシ、凡人やら昇格やら降格と手厳しいものです。学生時代以来、俳句に向き合っていない私には、色々新鮮な発見が沢山あります。冬の季語である「雪もよい」は日本語の美しさを感じます。また「息白し」「湯冷め」などは日常の風景が冬の季語として組み込まれていくところに俳句の奥深さを感じます。次に長男に詠まれた長女(6)の園児らしい一句です。

「ピアノひくおしりのいすがつめたいな」。なるほど！「冷たい」は冬の季語ですし、情景が浮かんでくるので才能アリですかね。甘い査定は子煩悩です、お許し下さい。



孫の作曲活動

孫と福笑い

カンパありがとう

矢田たず様、山中ツヤ子様、本田和子様、広田伊久枝様、中澤巳代男様、内田宣撫子様、服部君枝様、綴詰富美代様、樋口勝彦様、服部政樹様、舘敏彦様、木田みき様、他匿名様より感謝！
ホットユース

※元旦会に参詣された方に、四日市茶業協同組合様より寄贈された四日市名産「かぶせ茶」と、知多の「美浜の郷」海老せんべいを配布しました。また13日、16日の御正忌お朝事にもお配りしました。ティバックと急須で淹れる両方あります。美味しい四日市のかぶせ茶をどしどし飲みましょう。

お悔み申し上げます
 ★佐藤きぬ糸様(92歳、12月27日往生) 合掌

★編集子より★

「善正寺だより」326号をお届けします。◇新型コロナウイルスは世界中、南極大陸にまで感染の範囲を広げ、世界中の感染者数が8千万人を超え、死者数も190万人(一月半ば現在)を数え、終息の時期はとも見通すことができません。感染拡大を避けるために「この大流行(パンデミック)は他人事ではなく、我が事」と皆が自覚して自衛に基づく行動変容を受容しなければなりません。◇寺の行事計画も臨機応変に対応しながら企画・広報致しますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。◇巣ごもりになっても生かされて生きる自覚と共に、前向きに勤めを果たし生き抜きましょう。

コロナの感染拡大が止まりません。昔はただ祈って終息するのを待っただけでしたが、現在は科学万能主義で人間の手で抑え込むとするので却って焦りが増します。今しばらく三密を避けて、全てを阿弥陀様にお任せして時期が来るのを待ちましょう。ところで先日、本堂で年忌法要をお勤めされた家がありました。遠い親戚はコロナで帰省できないので本堂から生中継です。大学生の孫さん達かスマホカメラを設置して、約束の時間にZOOM(またはLINE)の動画を使い、映像を編集して配信されるそうです。私は初めて見る光景に感動しました。これからは寺もオンライン法要の時代が到来します。既にご本山では報恩講をネット中継されていますが、やがて地方の寺でもネット配信されるでしょう。また奈良教区吉野北組ではしんらん様の電子紙芝居が作成され、YouTubeで公開されています。我がモッズサンかでも見せたいと思います。コロナ後私達の生活は一変します。テレワークやオンライン授業が当たり前になります。私も時代の要請を取り入れて、工夫を凝らした伝道教化に努めます。しかしながら身近な人とのコミュニケーションはそれ以上に大事です。散歩中に挨拶しても無視される。嫌な気分です。温かい挨拶一つで、周囲の空気が和み、憂鬱なコロナも吹っ飛ぶような気がします。厳しい寒さの向こうには、必ず春がやって来ます。どうか皆様、お互いにもう少し辛抱してコロナの終息を待ちましょう。くれぐれもご首愛下さいませ。

合掌

令和三年二月

善正寺坊守 拝